



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

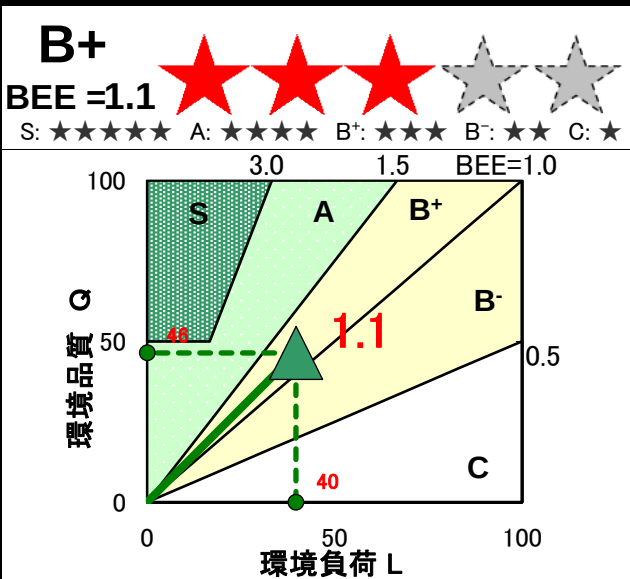
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)茶屋町TATSUMIビル建替計画		
建設地	北区茶屋町		
建築用途	物品販売業を営む店舗、サービス業を営む店舗		
建築主			
設計者			
敷地面積	572.66	m ²	
建築面積	465.22	m ²	
延床面積	3,778.54	m ²	
構造/階数	S造	/	地上10階
完了年(予定)	2025年8月		

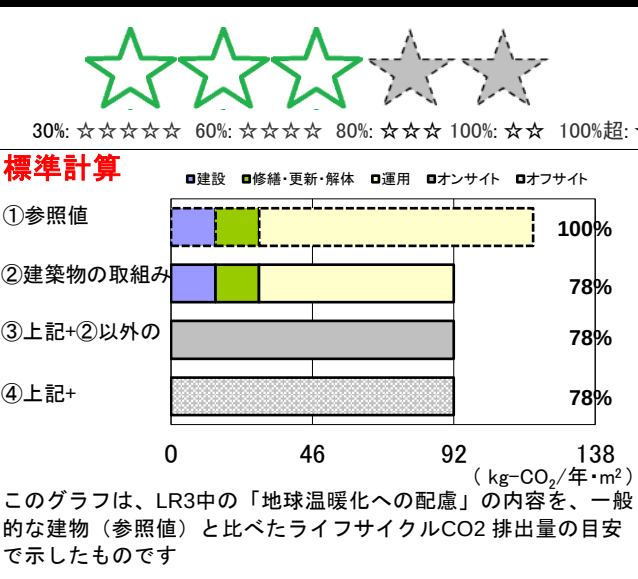
1-2 外観



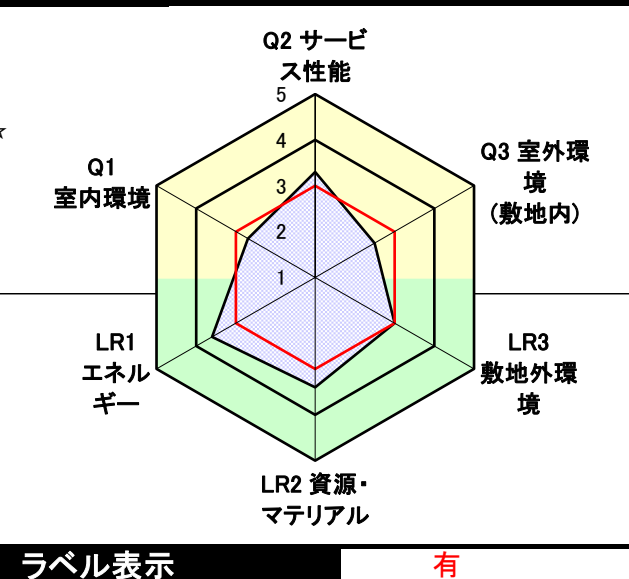
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



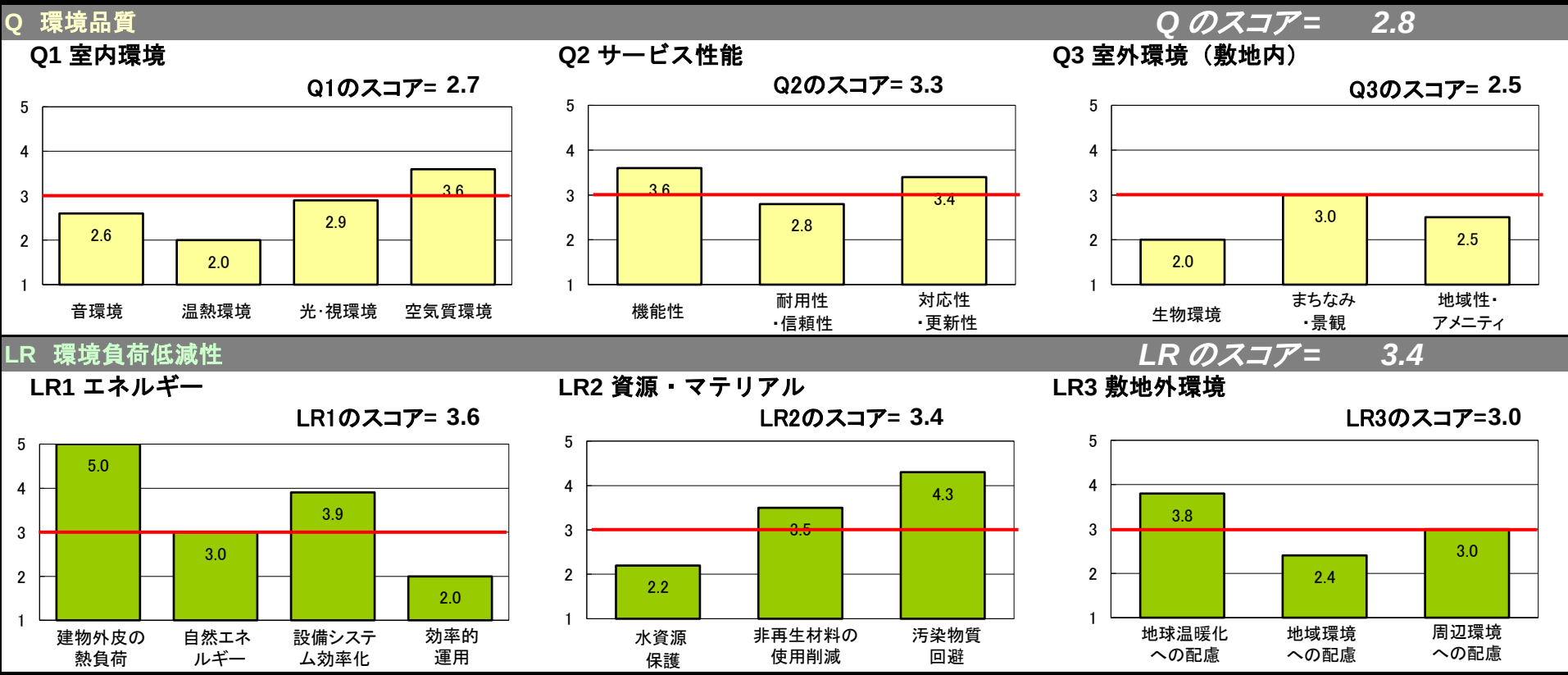
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 周辺建物に多い壁面緑化を計画建物にも採用し、周辺建物との調和を図った。また南西側の再開発事業の建物デザインと協調するようにスラブラインを活かした外観デザインとした。屋上に非常用発電機を設置し、非常時にも建物が運用可能なように計画した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 Low-E複層ガラスを採用することで、断熱性と遮熱性を高め室内環境の快適性が高くなるよう配慮した。また東西面の開口部に底を設けることで、熱的影響の低減、グレアの抑制を図っている。	Q2 サービス性能 屋上に非常用発電機を設置し、非常時にも運用可能な計画とした。また、各室に窓を計画することで、室内に滞在する人が屋外の情報を得られるようにした。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺建物に多い壁面緑化を計画建物にも採用し、周辺建物との調和を図った。
LR1 エネルギー BPI値を0.57を確保することで外皮性能の高い計画とした。また窓には複層ガラスを採用し、省エネルギーに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用することで、環境に配慮した。リサイクル材を積極的に採用し、地球環境に配慮した建物としている。また有害物質を含まない材料を使用することにより、化学物質の使用低減を行っている。	LR3 敷地外環境 駐車場および駐輪場を計画し、交通負荷の低減を図っている。駐車場の出入口は車両の通行量の少ない西側に計画し、周辺道路に渋滞が起きないように配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.9
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	- (相当)	0.57
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.71	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.71